

第Ⅰ章 調査に至る経緯と経過

1 遺跡の発見

五斗長垣内遺跡は、旧津名郡5町の合併による淡路市発足以前、平成13～16年度にかけて旧北淡町教育委員会が実施した町内遺跡詳細分布調査により発見された遺跡の一つである。その調査では、縄文時代から中世にかけての遺跡が多数確認されることとなり、平成17年3月に刊行された『北淡町遺跡分布図』（以下、『分布図』）には、222箇所の埋蔵文化財包蔵地が登録されることとなった。

特に、標高100～200mの丘陵上には、それまでに知られていなかった弥生時代の遺跡が多数存在することが明らかとなり、その数は56箇所を数えた。五斗長垣内遺跡が位置する育波川・室津川流域においても、黒谷地区から生田地区にかけて多数の遺跡が発見された。分布調査では、詳細な時期が把握できる大きな土器片が採集できる遺跡もあり、当該地域における遺跡密度の濃さが知られることとなった。しかし、五斗長垣内遺跡については、弥生時代と中世の小さな土器片が少量採集された程度であり、『分布図』には「弥生時代・中世の遺物散布地」として登録がなされたが、その後の発掘調査で確認されるような遺跡の内容は予測できる状況にはなかった。

なお、当初『分布図』には「垣内遺跡」の名称で登録されており、発掘調査もその名称で実施してきたが、その後、周辺に「カイト遺跡（開戸遺跡）」と同音の遺跡が存在することが明らかとなり、それらの混同を避ける目的で平成22年4月より「五斗長垣内（ごっさかいと）遺跡」と名称変更を行った。

2 調査に至る経緯

平成16年10月20日に淡路島南部に接近した台風23号の影響により19日早朝より降り始めた雨は、郡家観測所で総雨量388mmを記録し、20日の16時～17時の1時間には72mmもの大雨となった。この豪雨は、淡路島に甚大な被害をもたらした。遺跡が所在する育波川流域においても土砂崩れや河川の氾濫などにより、家屋の被害をはじめ、河川や橋梁、道路などの公共施設、田畠、ため池などの農業施設などに過去に例を見ない大きな被害を被ることとなった。特に、育波川上流の「新池」の決壊は、地域一帯で利用する農業用水の供給を断つこととなり、翌年以降の稻作を断念せざるを得ない状況をもたらす結果となつた。五斗長地区では、この災害復旧について「再び災害が起きないように」との願いのもと、地域全体を対象としたほ場整備事業による復旧を目指す方針が決定され、土地改良区の設立など、復旧事業実施に向けた取り組みが急ピッチで開始されることとなった。

経営体育成基盤整備事業五斗長地区（以下、ほ場整備事業）として、平成18～22年度の期間で実施されることとなった復旧事業に関し、平成17年8月8日に淡路市教育委員会に対して埋蔵文化財の有無に係る照会があり、事業区域内に所在する埋蔵文化財の保護措置について、事業者である兵庫県淡路県民局洲本土地改良事務所（以下、洲本土地改良事務所）との協議を開始した。ほ場整備事業区域内には、垣内遺跡をはじめとする11箇所の埋蔵文化財包蔵地が所在し、確認調査の実施が必要であることが確認された。その後、平成17年10月4日に依頼を受けた淡路市教育委員会は、平成17年11月16日に確認調査に着手した。その結果をもとにした埋蔵文化財の取り扱い協議を行い、計画変更等による保護措置に対する

る協力を得ることができたが、なお、記録保存を必要とする本発掘調査の面積が約24,000m²生じることから、再度調査面積を絞り込むための第2次確認調査を行うこととし、平成19年2月から壇内遺跡を対象とした範囲確認調査を実施した。

その結果、壇内遺跡における本発掘調査の面積は、7地区の合計17,884m²となった。しかし、広大な面積の調査が必要となることから、調査は2ヶ年に分けて行うこととし、洲本土地改良事務所の委託を受けた淡路市教育委員会が調査主体となり、平成19年度に10,108m²、平成20年度7,776m²の調査を実施した。また、発掘調査の成果や出土遺物の整理作業については、平成21～22年度の2ヶ年の計画で実施した。

3 調査後の経過

各年度の調査終了後、兵庫県教育委員会文化財室の立ち会いのもとに、遺跡の取り扱いに関する協議を行った。その結果、平成20年度の④-3地区（地区の詳細は第Ⅲ章に記載）の調査が完了した時点で、遺跡の重要性に鑑み、①、②、③、④-3地区の現状保存について関係機関との調整を図ることとなり、これらの調査地区を含む約1.6haの範囲について関係各方面の理解と協力を求めることがとなった。

なお、各年度の調査終了後には現地説明会や住民説明会を開催し、調査成果の一般公開を行った。平成19年度の現地説明会は、平成20年3月1日に開催し約90人、平成20年度は平成21年1月25日に開催し、約900人の参加者を得た。



第1図 平成20年度の現地説明会の様子